

石部基実クリニック

手術への不安や治療中の負担を減らすことにも積極的に取り組み

人工股関節置換術に特化した高い技術で 多くの人に負担の少ないMISを実践

経験に基づく技術で行う 早期復帰が可能なMIS

女性に多く見られ、股関節の痛みをもたらす変形性股関節症。重症例に対する有力な治療として人工股関節置換術がある。石部基実クリニックは、この手術に特化しているクリニックだ。石部基実院長と狩谷哲副院長の2人が、同院で外来診



院長 石部 基実

いしべ・もとみ ●北海道大学医学部卒業後、同大学医学部整形外科入局。米国ロチェスター大学医学部整形外科、人々をNTT東日本札幌病院などを工を経て、2008年に石部基実整形外科学会認定整形外科専門医など

療、提携する小笠原クリニック札幌病院で手術を行うという形で、2011年11月には621件の手術を行ってきた。「特化して数多くの手術を行うことが、医師やスタッフの熟達につながります。それにより、手術時間の短縮や出血量の減少など、より患者さんに負担の少ない治療が可能になります」と石部院長。

その高い技術で実現したのが、7センチ程度にまで手術創を小さくしたMIS（最小侵襲手術）だ。同院では、治療の正確性を高めるナビゲーションシステムも併用することで、ほとんどの症例においてMISを行う。「MISは、筋肉を傷つけにくい手術でもあります。結果として、術後の患者さんは早くから杖を使った歩行が可能になります」と狩谷



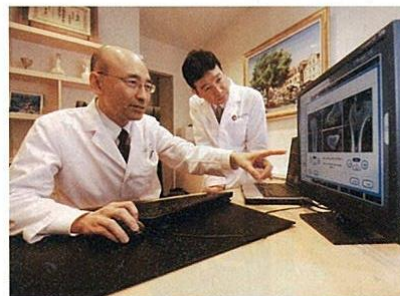
副院長 狩谷 哲

かりや・さとる ●金沢医科大学医学部卒業後、昭和大学病院整形外科助手（股関節班チーフ）、総合高津中央病院整形外科医長などを経て、2010年より石部基実クリニックに勤務。日本整形外科学会認定整形外科専門医など

副院長がいうように、入院期間も4〜12日までに短縮されている。

**多くの人に伝えるため
情報提供に努める**

負担の少ない人工股関節置換術を受けに、同院には全国から数多くの患者が訪れる。それは、専用のツアーパックで対応する程だ。同院は、こうした治療を求め



術前の検査は、必ず石部院長と狩谷副院長2人で検討し、最善の治療を追求する



ナビゲーションシステムで関節の状態を確認しながら手術を行う

る多くの声に、可能な限り応えることを目指している。「小笠原クリニック札幌病院の改装に伴い、3つの手術室が使えることになりました」と狩谷副院長がいうように、初診から手術までの期間短縮を心がけるのもその一環だ。同時に、入院時の生活にも気を配り、個室や特別室も提供している。

さらに、同院の患者だけでなく、手術を望む人への配慮も欠かさない。そうした人の不安を解消できるよう、年に数回の講演を欠かさず行い、同院で手術を受けた患者が作る「患者の会」の協力で、術後の感想を聞ける場も設ける。その上で、手術数や術後早期合併症の件数をホームページで公開

し、患者が納得して治療に臨めるようにもしている。「関節の悩みを抱える方を少しでも多く救えるよう、全力を尽くします」と石部院長は語り、患者のための医療を求め続けている。

取材／鈴木健太

INFORMATION

診療科目：整形外科
診療時間：9:00~18:00 ※完全予約制
休診日：水・土・日・祝
〒005-0012
北海道札幌市南区真駒内上町1-1-25
グリーンプラザ真駒内公園ビル
TEL.011-876-9008 (平日 9:00~12:00)
FAX.011-876-8089
http://www.dr-ishibe.net/
http://www.satoru-kariya.com/
●石部基実クリニック 患者の会ホームページ
http://www7b.biglobe.ne.jp/~kanzyanokai/